

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報			
事務事業名	環境啓発推進事業	担当課	生活環境課
総合計画 政策	安全・安心に暮らせるまち	計画期間	平成14年度～
施策	生活環境の保全	種別	任意的事務
基本事業	地球温暖化対策の推進	市民協働	その他
予算科目コード	01-040103-02 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
平成14年の市制施行に伴い、記念事業の一環としてマイバッグ配布事業を実施し、併せて意識調査や啓発活動、マイバッグポスター展を実施した。 環境に関するポスター募集については、平成15年度から環境省コンクールと連携し、ごみ減量・リサイクルをテーマとして実施し、平成22年度からは市単独でテーマを設定して実施している。	環境啓発の一環として、市立小学校6年生児童から、節電・エコドライブ・グリーンカーテンなどの省エネルギー・ごみ減量・リサイクルなど幅広く「環境」をテーマとしたポスターを募集し、優秀作品を表彰している。 また、ノーマイカーウィークを設け、二酸化炭素排出量の削減を目指している。更には、キャンペーンなどでエコドライブを推進していく。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
・ノーマイカー、エコドライブの推進により二酸化炭素削減を目指し地球温暖化防止に寄与する。 ・環境保全や省エネルギー活動に対する市民意識の高揚を図る。 ・ごみの減量方法や資源物の循環リサイクル、省エネルギー活動を理解してもらう。	
（参考）基本事業の目指す姿	
市民・事業者・行政が一体となって省エネ活動の推進と自然エネルギーの有効利用を図る。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）																																
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的な内容とスケジュール																															
<ul style="list-style-type: none"> ノーマイカーへの取組の実施率は、近年低下傾向である。 <table border="1"> <tr> <td>5月</td><td>9月</td> </tr> <tr> <td>H30年度</td><td>57.6%</td><td>53.5%</td> </tr> <tr> <td>H29年度</td><td>66.1%</td><td>62.8%</td> </tr> <tr> <td>H28年度</td><td>75.98%</td><td>62.6%</td> </tr> </table> 国「地球温暖化対策計画」により、温室効果ガスの削減目標が示され、地方公共団体においても、自ら排出する温室効果ガス削減の取組が求められている。 	5月	9月	H30年度	57.6%	53.5%	H29年度	66.1%	62.8%	H28年度	75.98%	62.6%	<ul style="list-style-type: none"> 環境ポスターコンクール <table border="1"> <tr> <td>6月</td><td>学校へポスター募集依頼</td> </tr> <tr> <td>9月</td><td>ポスター審査</td> </tr> <tr> <td>10月</td><td>表彰式、作品展示</td> </tr> </table> ノーマイカー <table border="1"> <tr> <td>5月</td><td>ノーマイカーウィーク(職員)</td> </tr> <tr> <td>6月</td><td>ノーマイカー取組意識アンケート(職員)</td> </tr> <tr> <td>9月</td><td>市内一斉ノーマイカーウィーク(市民・事業所・市役所)</td> </tr> <tr> <td>2月</td><td>ノーマイカー月間(職員)</td> </tr> </table> エコドライブ啓発 <table border="1"> <tr> <td>4月、7月、9月、12月</td><td>交通安全週間とあわせて啓発用品を配布し、市民の意識向上を図る。</td> </tr> </table> 節電キャンペーン <table border="1"> <tr> <td>7月、12月</td><td>市内量販店店頭において啓発用品とチラシを配布し、節電を呼びかける。夏(4回)・冬(1回)の節電を広報に掲載し啓発する。</td> </tr> </table> 地球温暖化実行計画の策定 <table border="1"> <tr> <td>平成31年度 上半期</td><td></td> </tr> </table> 	6月	学校へポスター募集依頼	9月	ポスター審査	10月	表彰式、作品展示	5月	ノーマイカーウィーク(職員)	6月	ノーマイカー取組意識アンケート(職員)	9月	市内一斉ノーマイカーウィーク(市民・事業所・市役所)	2月	ノーマイカー月間(職員)	4月、7月、9月、12月	交通安全週間とあわせて啓発用品を配布し、市民の意識向上を図る。	7月、12月	市内量販店店頭において啓発用品とチラシを配布し、節電を呼びかける。夏(4回)・冬(1回)の節電を広報に掲載し啓発する。	平成31年度 上半期	
5月	9月																															
H30年度	57.6%	53.5%																														
H29年度	66.1%	62.8%																														
H28年度	75.98%	62.6%																														
6月	学校へポスター募集依頼																															
9月	ポスター審査																															
10月	表彰式、作品展示																															
5月	ノーマイカーウィーク(職員)																															
6月	ノーマイカー取組意識アンケート(職員)																															
9月	市内一斉ノーマイカーウィーク(市民・事業所・市役所)																															
2月	ノーマイカー月間(職員)																															
4月、7月、9月、12月	交通安全週間とあわせて啓発用品を配布し、市民の意識向上を図る。																															
7月、12月	市内量販店店頭において啓発用品とチラシを配布し、節電を呼びかける。夏(4回)・冬(1回)の節電を広報に掲載し啓発する。																															
平成31年度 上半期																																
改善内容(課題解決に向けた解決策)																																
<ul style="list-style-type: none"> ノーマイカー・エコドライブの実施により二酸化炭素の排出を削減し、地球温暖化防止に寄与していることを広報紙やホームページ等を活用し、市民に周知していく。職員に対しては、取組の向上を図るために、掲示板等で周知していく。 さらに職員に対して、ノーマイカー取組に関するアンケートを行い、低下傾向にある原因を調査し、向上につなげる。 地球温暖化防止対策実行計画を策定し、温室効果ガスの削減を取り組む。 																																

次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	ポスターコンクール、エコドライブは最小限の経費で実施しており、ノーマイカーでは予算計上がないため、現状維持とする。

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度の取組（評価、課題への対応）
環境啓発は行政が率先して行うべきであり、環境をテーマにしたポスター募集、ノーマイカーウィークなども継続して実施した。	引き続き、環境をテーマにしたポスター募集、ノーマイカーウィークの実施、エコドライブの推進、省エネ（節電）の促進など、地球温暖化防止のための環境啓発を実施した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
ノーマイカーによる二酸化炭素削減量	12,651.24	10,186.17	10,121.88	10,000.00	13,000.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
□向上 ■横ばい □低下	ノーマイカー、エコドライブの取組は、地球温暖化防止のための二酸化炭素の削減に寄与している。低公害車・ハイブリッド車の普及により自家用車の燃費を見直したこと、削減量は減少傾向にある。なお、平成30年度は集計結果が全部出ていないため、全5回中3回までの結果を計上しており、平成29年度の同時期は4588.52kg-CO2であるため、横ばいである。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
□拡大 □縮小 ■維持	□改善・効率化 □統合 □廃止・終了	環境啓発は行政が率先して行うべき事業であることから、今後も継続していく。			

コストの推移						
項目		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	294	271	286	325	325
	国・県支出金	0	271	286	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	294	0	0	325	325
正職員人工数（時間数）		304.00	692.00	436.00	436.00	436.00
正職員人件費		1,246	2,837	1,820	0	0
トータルコスト		1,540	3,108	2,106	325	325